

# 環境に係る情報協議会

## 国営かんがい排水事業 網走川豊住地区

### 1. 環境に対する考え方

#### 《農村環境の現状と課題》（「大空町田園環境整備マスタープラン」より）

##### 【現状】

大空町には、藻琴山山麓に広がる森林環境や、網走川、藻琴川等の河川とその支流からなる水環境など、豊かな自然環境が形成されている。網走湖の女満別湖畔では、ミズバショウ群落やアオサギコロニーなどの貴重な野生動植物や緑豊かな自然環境が残っている。

また、中央部の丘陵地帯を中心として、町内全域にわたり豊かで美しい田園風景が広がっている。

##### 【課題】

近年の林地開発に伴う土砂の流出や生活雑排水などの流入、化学肥料や農薬の過剰な投入、家畜ふん尿や残さ物の不適切な処理により、水環境の悪化が課題となっており、保全対策が必要となっている。

女満別湖畔の湿性植物群落でも、水質の悪化等による環境への影響が懸念されており、保全していくと共に失われつつある自然を回帰させていく対策が必要となっている。

また、町内全域に広がる豊かな田園風景の保全あるいは創出を図っていくなど、人と自然の関係を見直し、自然と共生していく視点が求められている。

#### 《環境保全の基本的考え方》（「大空町田園環境整備マスタープラン」より）

- ・環境共生の総合的推進を進める。
- ・自然環境や自然景観に対する保護、監視活動を強化する。
- ・まちぐるみで森林や湖畔、河川などの水循環の美化清掃活動や景観保全活動に取り組む。
- ・多様な機会を捉え、環境学習の拡大を図る。

### 2. 環境配慮方針

#### 《基本方針》

本地区は、北海道北東部のオホーツク地方に位置し、網走川下流域の左岸に拓けた農業地帯である。

地区の周辺には網走国定公園に指定されている網走湖及びポイント沼が存在するほか、地区の東部には網走川が流下する自然豊かな環境となっている。

本事業においては、大空町の田園環境整備マスタープラン等との整合を図り、生態系や景観との調和に配慮する。

#### 《取組内容》

##### (1) 生態系への配慮

- ・工事実施前に鳥類の営巣確認を行い、営巣が確認された場合は、繁殖への影響が大きい2月から7月中旬において営巣地から半径500mの範囲での工事を回避する。
- ・魚類の生息環境に配慮するため、工事の実施に当たっては、沈殿・ろ過等の濁水処理施設を設置し、濁水流出を防止する。

##### (2) 景観への配慮

- ・排水機の整備に当たっては、建屋と敷地内設備について、地域景観との調和に配慮した色彩を採用する。